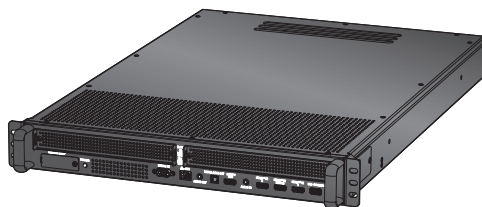


## 取扱説明書 基本ガイド

コントロールボックス 業務用

品番 TY-CTRFHD1J  
TY-CTRFHD2J  
TY-CTRFHD3J



このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

はじめにお読みください

本機の操作方法など、より詳しい内容については「取扱説明書 詳細編」をお読みください。  
「取扱説明書 詳細編」のダウンロードについては、次の URL を参照してください。

<https://connect.panasonic.com/jp-ja/prodisplays>

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- **ご使用前に「安全上のご注意」(3～7ページ)を必ずお読みください。**
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。
- 本品は TL-110AD12AJ、TL-137AD15AJ、TL-165AD19AJ 専用の構成品並びに別売品です。  
単独でのご購入・ご使用はできません。
- 製造番号は品質管理上重要なものです。  
お買い上げの際は、製品本体の製造番号をお確かめください。

**HDMI™**  
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

**HC Advance™**  
Covered by patents at patentist.accessadvance.com

パナソニック プロジェクター&ディスプレイ株式会社

〒571-8503 大阪府門真市松葉町 2 番 15 号

© Panasonic Projector & Display Corporation 2025

TP1224MH3095 -FJ

中国印刷

DPQX1800WA/X1

## お使いになる前に

- この取扱説明書のイラスト、画面などはイメージであり、実際とは異なる場合があります。

安全上のご注意	3
使用上のお願い	7
付属品の確認	9
本体	9
付属品	9
リモコンの電池の入れかた	12
ファンクションボードの取り付け	13
移動するときの注意	15
別売オプション	15
接続	16
電源コードの接続と固定、 接続ケーブルの固定	16
映像機器の接続	17
接続の前に	19
各部の基本説明	20
本機	20
リモコン	20
基本の操作	21
仕様	24
ソフトウェアライセンス	27
商標について	27

## 大切なお知らせ

### 業務用ディスプレイ / プロジェクター テクニカルサービスサイト PASS について

PASS は、当社製品をご使用またはご購入を検討されている方に様々なサービスをご提供する、総合サポートサイトです。

詳しくは下記の WEB サイト

(<https://panasonic.biz/cns/prodisplays/pass/>)

または、

パナソニック PASS  で検索してください。

メンバー登録が未だの方は、  
から登録をお願いします。

**新規登録**  
メンバー登録・製品登録

ボタン

メンバー登録がお済みの方は、登録メールアドレス / パスワードを入力してログインしてください。

### ■ 簡単にご登録だけで、様々なコンテンツを ご利用いただけます

- ・ダウンロード  
ユーティリティソフトウェアやファームウェアをダウンロードできます。
- ・ニュースレター購読  
PASS の最新情報、新製品情報などをメールでお届けします。
- ・お問い合わせ  
ログインいただくと、細かい手続き不要ですぐにお問い合わせいただけます。

### ■ 本機購入後 1 か月以内に PASS に ご登録頂きますようお願いいたします。

# 安全上のご注意

## 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



### 警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



### 注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。



気をつけていただく内容です。



## 警告

異常・故障時は直ちに使用を中止してください

■ 異常があったときは電源プラグを抜いてください

- 煙が出たり、異常な臭いや音をする
- 映像や音声が出ないことがある
- 内部に水などの液体や異物が入った
- 本機に変形や破損した部分がある



電源プラグ  
を抜く

そのまま使用すると火災・感電の原因になります。

- 電源プラグをコンセントから抜いて販売店に修理をご依頼ください。
- 本機を電源から完全に遮断するには、電源プラグを抜く必要があります。
- お客様による修理は危険ですから、おやめください。
- 電源プラグはすぐに抜けるように容易に手が届く位置のコンセントをご使用ください。

■ 故障した本機には手で触れないでください



感電の原因になることがあります。

■ 異物を入れないでください

通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。



火災・感電の原因となります。

- 特にお子様にはご注意ください。

**電源コードについて**

- 電源コードは本機に付属のもの以外は使用しないでください



付属以外の電源コードを使用すると、ショートや発熱により、感電・火災の原因になることがあります。

- 付属の電源コードを他の機器に使用しないでください



ショートや発熱により、火災や感電の原因になることがあります。

- 電源プラグにほこりがたまらないよう、定期的に掃除をしてください



湿気などでショートし火災・感電の原因となります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください



感電の原因となります。

ぬれ手  
禁止

- コンセントや配線器具の定格を超える使い方や、本機の仕様外の交流電源電圧では使用しないでください



たこ足配線などで、定格を超えると、発熱により火災の原因となります。

- 電源プラグ（コンセント側）や、電源コネクタ（本体側や電源ボックス側）は、根元まで確実に差し込んでください

差し込みが不完全であると、感電や発熱による火災の原因になります。



- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントのまま使用しないでください。
- 電源コネクタのロックが掛かっていることを確認してください。

- 電源コードや電源プラグを破損するようなことはしないでください

（ 傷つける、加工する、熱器具に近づく、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重いものを載せる、束ねる など ）



ショート、断線により火災・感電の原因となります。

- 電源コードやプラグの修理は、販売店にご依頼ください。

- 破損した電源コードや電源プラグには手で触れないでください



感電やショートによる火災の原因になることがあります。

- 本機は、必ず、電源プラグを保護接地があるコンセントに接続してください

- アースは確実に行ってください



感電の原因となります。本機の電源プラグはアース付き 3 芯プラグです。機器の安全確保のため、アースは確実に接続を行いご使用ください。

- アース工事は専門業者にご依頼ください。

## 警告

### ■ 設置は、工事専門業者にご依頼ください



工事が不完全ですと、死亡、けがの原因となります。

- コントロールボックス (TY-CTRFHD1J) の壁への取り付けには FHD LED ディスプレイ (TL-110AD12AJ) に同梱の専用壁掛け金具を必ずご使用ください。コントロールボックス (TY-CTRFHD2J, TY-CTRFHD3J) は、壁に取り付けることができません。
- 落下防止のため、壁掛け金具と取り付ける機材の重量に十分耐えるよう、取り付け場所の強度を確認のうえ施工を行ってください。
- 電源ボックスは FHD LED ディスプレイ (TL-110AD12AJ, TL-137AD15AJ, TL-165AD19AJ) に付属の金具に取り付けてください。
- コントロールボックス (TY-CTRFHD1J) は FHD LED ディスプレイ (TL-110AD12AJ) に付属の金具に取り付けてください。もしくは、ANSI/EIA-310-D 規格に準拠したラックに取り付けてください。
- コントロールボックス (TY-CTRFHD2J, TY-CTRFHD3J) は、ANSI/EIA-310-D 規格に準拠したラックに取り付けてください。
- FHD LED ディスプレイ (TL-110AD12AJ) のスタンドへの取り付けには指定の別売移動式スタンド (TY-ST110AD1) をご使用ください。
- ご使用を終了した製品は、工事専門業者にご依頼のうえ速やかに撤去してください。

### ■ 同梱されている付属品は乳幼児の手の届くところに置かないでください



誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。

- 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

### ■ 雷が鳴りだしたら本機や電源プラグには触れないでください



感電の原因となります。

接触  
禁止

### ■ 本機上部に水などの液体の入った容器を置かないでください



水ぬれ  
禁止

水などの液体がこぼれ、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

### ■ ぬらしたりしないでください



水ぬれ  
禁止

火災・感電の原因となります。

### ■ 不安定な場所に置かないでください



ぐらついた台の上や傾いた所などに置くと、倒れたり、落ちたりして、けがの原因となります。

### ■ 振動が少なく、本機の質量に耐えられる場所に設置してください



倒れたり、落ちたりして、けがや故障の原因となります。

### ■ 機器本体取り付け、または取り外しの際には、機器本体と壁や金具に挟まれる恐れがあるため、周辺に人がいないことを確認し、注意して作業してください





手や指がはさまり、けがの原因になることがあります。

### ■ 本機を分解したり、改造したりしないでください



分解  
禁止

**警告**

**感電のおそれあり**

サービスマン以外の方は、カバーをあげないでください。内部には高電圧部分が多くあり、万一さわると危険です。

#### 「本体に表示した事項」

内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。

- 内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

## 注意

- 本機の通風孔をふさがないでください
- 風通しの悪い狭い所に押し込まないでください
- 逆さまにしないでください
- テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置かないでください



内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。

- 上に物を置かないでください



倒れたり、落下して、けがの原因となることがあります。

- 本機に乗ったり、ぶらさがったりしないでください



倒れたり、破損してけがの原因となることがあります。

- 特に、小さなお子様にはご注意ください。

- 温度の高い所、湿気やほこりの多い所、油煙や湯気が当たるような所（調理台や加湿器のそばなど）に置かないでください



火災・感電の原因となることがあります。

- 電源コードを取り外すときは、必ず電源プラグ（コンセント側）や、電源コネクター（本機側）を持って抜いてください



コードを引っ張ると、コードが破損し、感電・ショートによる火災の原因となることがあります。

- 移動させる場合は、電源コードや機器の接続線、転倒・落下防止具を外してください



コードや本機が破損し、火災・感電の原因となることがあります。

- 接続ケーブルの処理は確実に行ってください



ケーブルを壁面に挟んだり、無理に曲げたり、ねじったりすると、芯線の露出、ショート、断線により、火災・感電の原因となることがあります。

- 新しい電池と古い電池を混ぜたり、指定以外の電池を使用しないでください

- 日光、火などの過度な熱にさらさないでください



取り扱いを誤ると、電池の破裂、液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

- 電池を入れるときには、極性（プラス⊕とマイナス⊖）を逆に入れないでください



取り扱いを誤ると、電池の破裂、液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因になることがあります。  
挿入指示通り正しく入れてください。

- 被覆のはがれた電池は使用しないでください



取り扱いを誤ると、電池のショートにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

- 電池の液が漏れたときは、素手でさわらないでください



- 液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。
- 液が身体や衣服についたときは、皮膚の炎症やけがの原因になるので、きれいな水で十分に洗い流したあと、医師にご相談ください。

- 長時間使用しないときは、リモコンから電池を取り出してください



液漏れ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になることがあります。

- 使い切った電池は、すぐにリモコンから取り出してください



そのまま機器の中に放置すると、電池の液漏れや、発熱・破裂の原因になります。

- 強い力や衝撃を加えないでください



機器が破損し、けがの原因となることがあります。

- 長期間ご使用にならないときは電源プラグをコンセントから抜いてください



電源プラグにほこりがたまり火災・感電の原因となることがあります。

電源  
プラグを  
抜く

## 注意

- 壁への取り付けの際は、取り付けねじや電源コードが壁内部の金属部と接触しないように設置してください



壁内部の金属部と接触して、感電の原因となることがあります。

- 接続ケーブルを引っ張ったり、ひっかけたりしないでください



倒れたり、落ちたりしてけがの原因となることがあります。

- 特に、お子様にはご注意ください。

- 雨が当たる所、塩害が発生する所、腐食性ガスが発生する所に設置しないでください



腐食により落下し、けがの原因になることがあります。また、本機の故障の原因になる場合があります。

- 取付工事の際は、指を挟まないようにご注意ください



けがの原因となることがあります。

### 指はさみ注意

- 取扱説明書 / 施工説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより事故や損害が生じたときは、当社では責任を負えません。

## お手入れについて

- 一年に一度は内部の掃除を販売店にご依頼ください



内部にほこりがたまつたまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。

湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、内部掃除については販売店にご相談ください。

- お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください



感電の原因となることがあります。

電源  
プラグを  
抜く

- ファンクションボード（別売品）の取り付けや取り外し、お手入れの際は、安全のため電源プラグ（コンセント側）や電源コネクター（電源ボックス側）をコンセントから抜いてください



感電の原因となることがあります。

電源  
プラグを  
抜く

## 使用上のお願ひ

- 設置されるとき

本機の設置については、次に示す各項目をお守りください。

また、設置環境の不具合による製品の破損などについては、保証期間中であっても責任を負いかねますのでご注意ください。

本機は屋内に設置してください。また、屋内であっても次のような場所の設置は避けてください。

- 風雨にさらされる場所
- 空調機の近くなど、温度・湿度の変化が激しい場所
- 振動や衝撃の加わるおそれのある場所
- スプリンクラーや感知器の近く

振動や衝撃が加わる場所への設置は避けてください。

- 本機に振動や衝撃が加わって内部の部品がいたみ、故障の原因となります。
- 振動や衝撃の加わらない場所に設置してください。

本機の質量に耐えられる場所に設置してください。

- 転倒・落下により、けがの原因になることがあります。

高圧電線や動力源の近くに設置しないでください。

- 高圧電線や動力源の近くに本機を設置すると妨害を受ける場合があります。

機器相互の干渉に注意してください。

- 電磁波妨害による映像の乱れ、雑音などをさせて設置してください。

本機の使用環境温度は、海拔 1 400 m 未満で使用する場合は、0℃～40℃、高地（海拔 1 400 m 以上～2 800 m 未満）で使用する場合は、0℃～35℃です。これらの温度を越えないように空気の流通を確保してください。

- 部品の寿命などに影響を及ぼすおそれや、故障の原因になる場合があります。



直射日光を避け、熱器具から離して設置してください。

- 室内であっても直接日光が当たるとLED モジュールの温度上昇により故障の原因になることがあります
- キャビネットの変形や故障の原因となります。
- 光や熱によって機器の温度上昇に起因する故障や不具合の原因となる場合があります。
- 映像品位の低下につながる場合があります。

**機器の接続は通電されていない状態で実施してください。**

- 各機器の説明書に従って、接続してください。

**設置時の空間距離について**

- ケースや筐体内に設置する場合は、冷却ファンや通気口を設けて、LED パネル前面を含めた本機周辺温度（ケースや筐体内温度）が本機の使用環境温度の範囲内に維持されるように適切な換気を実施してください。

**本機を保管しておく場合は、乾燥した室内に保管してください。**

**■ 接続について**

**電源コードや接続ケーブル抜き差しについて**

- 壁への設置を行った場合、電源コード、接続ケーブルの抜き差しが困難な場合は、先に接続してから設置してください。
- コード類が絡まないようご注意ください。設置が完了してから、電源プラグをコンセントに差ししてください。

**■ ご使用になるとき**

**本機の一部が熱くなることがあります。**

- 筐体の一部の温度が高くなることがありますが、性能・品質には問題ありません。

**ファンの交換が必要となる場合があります**

- ファンの使用時間が 25 000 時間を超えた場合は、ファンの交換が必要となる場合があります。
- 使用環境によりファンの交換時間が必要となる時間は異なります。
- ファンの交換については販売店にご依頼ください。ファンの使用時間は「オプション設定」画面でご確認いただけます。

**LED を長期間で使用いただくために**

- 湿度の高い場所での使用や長期間の運転停止ならびに保管によりLED 素子が吸湿している可能性があります。吸湿している状態において高輝度での表示を行うと、LED 素子が急激な温度変化を引き起こし、LED 素子の不良の原因となりますので、輝度設定を徐々に上げてから通常運転に移行する「ウォームアップ動作」を「オン」もしくは「オート」に設定して下さい。
- 「ウォームアップ動作」についてはコントロールボックスの取扱説明書詳細編をお読みください。

**適度の音量で隣近所への配慮を**

- 特に夜間は小さな音でも通りやすいので、窓を閉めたりして生活環境を守りましょう。

**長時間で使用にならないときは**

- 電源プラグをコンセントから抜いておいてください。
- 電源供給せずに長期保管する場合は、直射日光にさらされる様な場所に保管しないでください。

**電源が瞬断や瞬停、瞬時電圧低下すると、正常に動作しない場合があります。**

- このような場合は、本機および本機と接続している機器の電源をいったん切ったあと、再度、電源を入れてください。

**ご覧になっている映像端子以外の入力端子に接続されているケーブルを抜き差ししたり、映像機器の電源を「切」「入」すると映像が乱れることがあります。故障ではありません。**

**粘着性のテープやシールを貼らないでください**

- 本機の表面を汚すことになります。

**ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください**

- 本機の変質の原因となります。

**■ RJ45 端子との接続について**

**本機前面の RJ45 端子は、ネットワーク専用端子です。**

一方、本製品背面の RJ45 端子は、キャビネットモジュールへの映像端子、もしくは電源ボックスへの制御端子です。ネットワークには絶対に接続しないでください。

**誤って接続をすると、故障の原因となることがあります。**

**静電気が多く発生するような場所での本機の使用は、できるだけしないでください。**

- じゅうたんなどの静電気が多く発生するような場所で本機を使用する場合、通信が切れやすくなります。その場合は、問題となる静電気やノイズ源を取り除いてから、本機と接続している機器の電源をいったん切ったあと、再度、電源を入れてください。

**放送局や無線機からの強い電波により、正常に動作しない場合があります。**

- 近くに強い電波を発生する設備や機器がある場合は、それらの機器から十分に離して設置するか、両端で接地された金属箔あるいは金属配管で LAN ケーブルを覆ってください。

**■ セキュリティに関するお願い**

**本機をご使用になる場合、次のような被害に遭うことが想定されます。**

- 本機を経由したお客様のプライバシー情報の漏えい
- 悪意の第三者による本機の不正操作
- 悪意の第三者による本機の妨害や停止

**セキュリティ対策を十分に行ってください。**

- LAN 制御のパスワードを設定し、ログインできるユーザーを制限してください。
- パスワードはできるだけ推測されにくいものにしてください。



- パスワードは定期的に変更してください。
- パナソニック プロジェクター&ディスプレイ株式会社およびその関係会社が、お客様に対して直接パスワードを照会することはございません。直接問い合わせがあっても、パスワードを答えないでください。
- ファイアウォールなどの設定により、安全性が確保されたネットワークでご使用ください。
- 廃棄時には、データの初期化を行ってから廃棄ください。「工場出荷時の設定に戻すには」をご覧ください。なお製品を分解せずに廃棄してください。

## ■ お手入れについて

**必ず電源プラグをコンセントから抜いて、通電をしていないことを確認してから行ってください。**

本機 (LED モジュール表面除く) の汚れは、帯電を除去した柔らかい布 (綿・ネル地など) で軽くふく

### お知らせ

- 静電気の発生は、電気回路の故障の原因になります。
- 本機の表面を固い布でふいたり、強くこすったりすると故障の原因になります。

## 化学そうきんのご使用について

- 本機にご使用の際はその注意書きに従ってください。

殺虫剤、ベンジン、シンナーなど揮発性のものをかけない

- 本機の故障、破損や塗装がはがれる原因になります。



通気孔などの空気が通る孔のごみやほこりを取り除く

- 使用環境によって通気孔付近に埃などが付着する場合があります。それにより、本機内部の冷却、排熱の循環が悪化し、輝度の低下や故障の原因となるおそれがありますので通気孔に付着した埃を取り除く清掃をお願いします。
- 付着するゴミやほこりの量は、設置した場所や使用時間によって異なります。

## ■ 廃棄について

製品を廃棄する際は、最寄りの市町村窓口または販売店に、正しい廃棄方法をお問い合わせください。なお製品を分解せずに廃棄してください。

# 付属品の確認

## 本体



## 付属品

付属品が入っていることをご確認ください。  
< >は個数です。

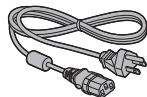
### ■ TY-CTRFHD1J

#### □ 電源コード< 1 >

100 V 接地付きコンセント用 (約 2 m)

- 1JP155AF1J

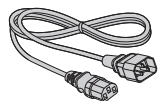
※電源ボックスから電源を供給しない場合は、必ずこちらの電源コードを使用して、100 V コンセントに接続してください。



#### □ 電源コード< 1 >

TY-PWRBX1J 装着用 (約 2 m)

- DPVF4976ZA/X1



#### □ RJ-45 ケーブル< 4 >

- DPVF4977ZA/X1

1.7 m < 2 >

- DPVF4979ZA/X1

2.2 m < 2 >

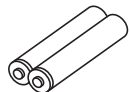


#### □ リモコン< 1 >

- DPVF4035ZA/X1

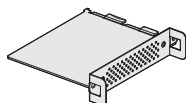


#### □ 単 4 形乾電池< 2 > (リモコン用)



☐ SLOT アダプター< 2 >

- DPVF2722XA/X1



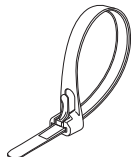
☐ 外部 IR 受信機< 1 >  
(約 1.8m)

- DPVF1180ZA



☐ 結束バンド< 20 >

- DPVF4980ZA/X1



☐ 面ファスナー< 10 >

- DPVF4981ZA/X1



☐ 連結金具  
垂直方向< 8 >\*

- DPVF4985ZA/X1



水平方向< 2 >\*

- DPVF4982ZA/X1



☐ M8-14 ねじ< 16 >\*

垂直方向連結金具用

- DPVF4986ZA/X1



☐ M10-20 ねじ< 2 >\*

水平方向連結金具用 A

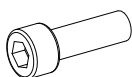
- DPVF4983ZA/X1



☐ M10-18 ねじ< 2 >\*

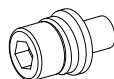
水平方向連結金具用 B

- DPVF4984ZA/X1



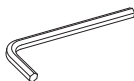
☐ M6-8 ねじ< 4 >  
ボックス固定用

- DPVF5008ZA/X1



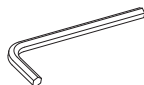
☐ 六角レンチ (M4 用) < 1 >

- DPVF4988ZA/X1



☐ 六角レンチ (M5 用) < 1 >

- DPVF4989ZA/X1



☐ LED モジュール高さ調整ジグ< 1 >

- DPVF4987ZA/X1



\* TL-1 10AD12AJ パッケージでは使用しません。

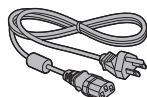
■ TY-CTRFHD2J

☐ 電源コード< 1 >

100 V 接地付きコンセント用 (約 2 m)

- 1JP155AF1J

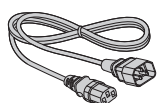
※電源ボックスから電源を供給しない場合は、必ずこちらの電源コードを使用して、100 V コンセントに接続してください。



☐ 電源コード< 1 >

TY-PWRBX2J 装着用 (約 2 m)

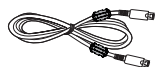
- DPVF5003ZA/X1



☐ RJ-45 ケーブル< 5 >

- DPVF5132ZA/X1

10 m

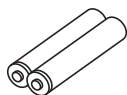


☐ リモコン< 1 >

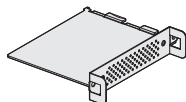
- DPVF4035ZA/X1



- ☐ 単 4 形乾電池< 2 >  
(リモコン用)



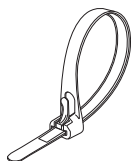
- ☐ SLOT アダプター< 2 >  
● DPVF2722XA/X1



- ☐ 外部 IR 受信機< 1 >  
(約 1.8m)  
● DPVF1180ZA



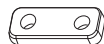
- ☐ 結束バンド< 20 >  
● DPVF4980ZA/X1



- ☐ 面ファスナー< 10 >  
● DPVF4981ZA/X1



- ☐ 連結金具  
垂直方向< 10 >※  
● DPVF4985ZA/X1  
水平方向< 2 >※  
● DPVF4982ZA/X1



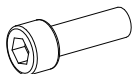
- ☐ M8-14 ねじ< 20 >※  
垂直方向連結金具用  
● DPVF4986ZA/X1



- ☐ M10-20 ねじ< 2 >※  
水平方向連結金具用 A  
● DPVF4983ZA/X1



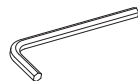
- ☐ M10-18 ねじ< 2 >※  
水平方向連結金具用 B  
● DPVF4984ZA/X1



- ☐ M6-8 ねじ< 4 >  
ボックス固定用  
● DPVF5008ZA/X1



- ☐ 六角レンチ (M4 用) < 1 >  
● DPVF5134ZA/X1



- ☐ 六角レンチ (M5 用) < 1 >  
● DPVF5135ZA/X1



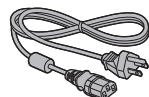
- ☐ LED モジュール高さ調整ジグ< 1 >  
● DPVF4987ZA/X1



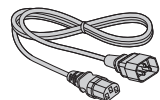
\* TL-137AD15AJ パッケージでは使用しません。

## ■ TY-CTRFHD3J

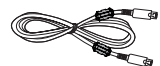
- ☐ 電源コード< 1 >  
100 V 接地付きコンセント用 (約 2 m)  
● 1JP155AF1J  
※電源ボックスから電源を供給  
しない場合は、必ずこちらの  
電源コードを使用して、100 V  
コンセントに接続してください。



- ☐ 電源コード< 1 >  
TY-PWRBX3J 装着用 (約 2 m)  
● DPVF5003ZA/X1



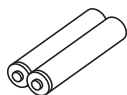
- ☐ RJ-45 ケーブル< 6 >  
● DPVF5132ZA/X1  
10 m



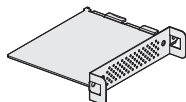
- ☐ リモコン< 1 >  
● DPVF4035ZA/X1



- ☐ 単 4 形乾電池 < 2 >  
(リモコン用)



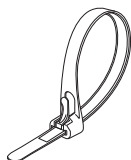
- ☐ SLOT アダプター < 2 >  
● DPVF2722XA/X1



- ☐ 外部 IR 受信機 < 1 >  
(約 1.8m)  
● DPVF1180ZA



- ☐ 結束バンド < 20 >  
● DPVF4980ZA/X1



- ☐ 面ファスナー < 10 >  
● DPVF4981ZA/X1



- ☐ 連結金具  
垂直方向 < 12 > \*  
● DPVF4985ZA/X1  
水平方向 < 2 > \*  
● DPVF4982ZA/X1



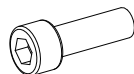
- ☐ M8-14 ねじ < 24 > \*  
垂直方向連結金具用  
● DPVF4986ZA/X1



- ☐ M10-20 ねじ < 2 > \*  
水平方向連結金具用 A  
● DPVF4983ZA/X1



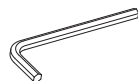
- ☐ M10-18 ねじ < 2 > \*  
水平方向連結金具用 B  
● DPVF4984ZA/X1



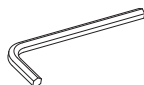
- ☐ M6-8 ねじ < 4 >  
ボックス固定用  
● DPVF5008ZA/X1



- ☐ 六角レンチ (M4 用) < 1 >  
● DPVF5134ZA/X1



- ☐ 六角レンチ (M5 用) < 1 >  
● DPVF5135ZA/X1



- ☐ LED モジュール高さ調整ジグ < 1 >  
● DPVF4987ZA/X1



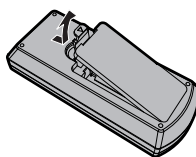
\* TL-165AD19AJ パッケージでは使用しません。

#### お願い

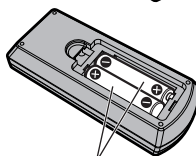
- 乳幼児の手の届かないところに、適切に保管してください。
- 付属品の品番は予告なく変更する場合があります。  
(上記品番と実物の品番が異なる場合があります。)
- 付属品を紛失された場合は、お買い上げの販売店へご  
注文ください。(サービスルート扱い)
- 包装材料は商品を取り出したあと、適切に処理して  
ください。

#### リモコンの電池の入れかた

ふたをあける



電池を入れ、ふたをしめる  
(⊖ 側から先に入れます。)



単 4 形乾電池

### お願い

- 電池を誤って取り付けると、液漏れや腐食のために、リモコンが壊れることがあります。
- 電池は環境に配慮した方法で廃棄してください。

### 次の点にご注意ください。

1. 電池は常に 2 本 1 組で交換してください。
2. 使用済み電池と新しい電池を組み合わせないでください。
3. 異なる種類の電池を組み合わせないでください（例えばマンガン電池とアルカリ電池など）。
4. 使用済み電池の充電、分解、焼却などを行わないでください。
5. 電池を分解したり、火の中に投入したりしないでください。  
また、直射日光の当たる場所や火のそばなど、高温の場所に保管しないでください。

## ファンクションボードの取り付け

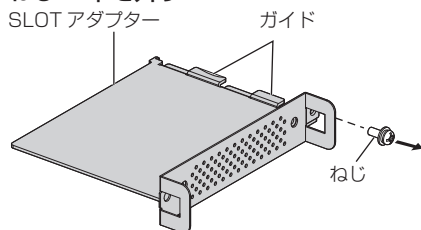
幅が狭いファンクションボードを使用される場合は、付属品の SLOT アダプターを取り付けて機能拡張用スロットに挿入してください。

### お願い

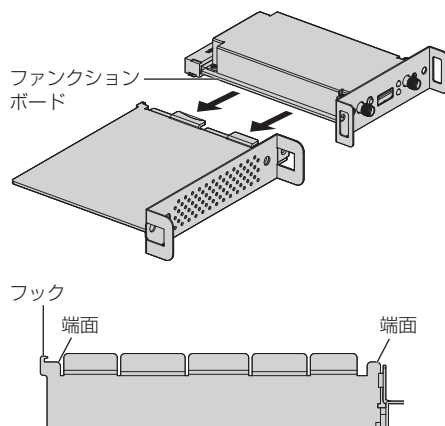
- 必ずコントロールボックス本体および接続機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、接続ケーブルをコントロールボックス本体から外してください。
- ファンクションボードの取り外し、取り付け時に金具でバックカバーや表示シートに傷を付けないようにしてください。

フルサイズファンクションボードを装着する場合は、手順 4 に進んでください。

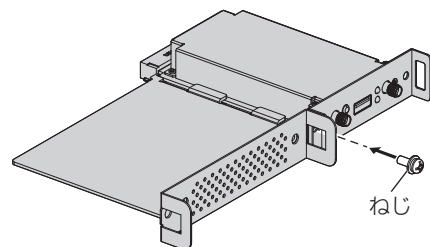
## 1 SLOT アダプターのガイドがある側のねじ 1 本を外す



## 2 SLOT アダプターのガイドにファンクションボードの基板をはめ込み、基板をフック（1 ヶ所）と端面（2 ヶ所）を確実に接触させる



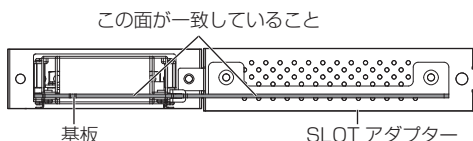
## 3 手順 1 で外したねじでファンクションボードを SLOT アダプターに固定する

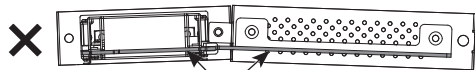


- 締め付けトルクは  $0.5\text{N} \cdot \text{m}$  以下を目安として締め付けてください。

### お願い

- ねじを確実に締め、SLOT アダプターのフックが基板を固定していることを確認してください。
- SLOT アダプターを取り付けたファンクションボードをカバーと反対側から見たときに、SLOT アダプターと基板のそれぞれの面が一致していることを確認してください。

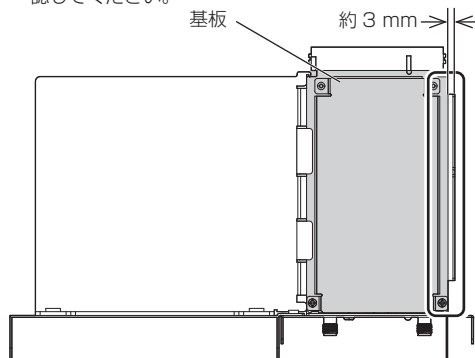




この面が水平になっていないと装着できません。



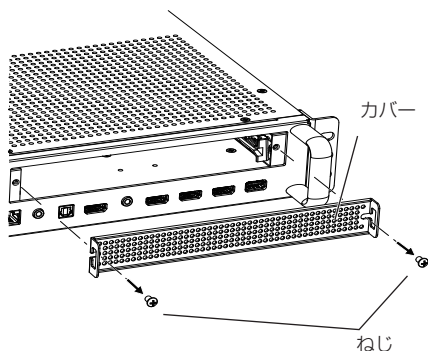
- 基板の端面から約 3 mm の範囲にリード線があるとガイドレールと干渉してファンクションボードを装着できません。この範囲にリード線がないことを確認してください。



この範囲にリード線がないこと

#### 4 ねじ 2 本を外し、機能拡張用スロットのカバーまたはファンクションボードを取り外す

ファンクションボードを取り外す際は、ファンクションボードの取っ手を持ち、ゆっくりと矢印方向に引き抜いてください。

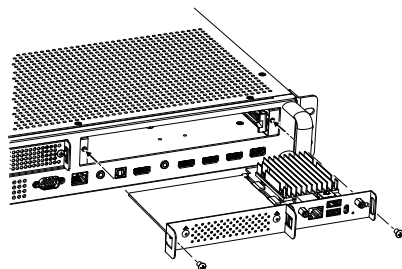


#### お知らせ

- 本機は機能拡張用スロットにカバーが取付られています。
- 取り外したカバーは、修理・サービスを受けるときに必要ですのでお客様にて保管してください。

#### 5 機能拡張用スロットにファンクションボードを挿入し、ねじ 2 本を締める

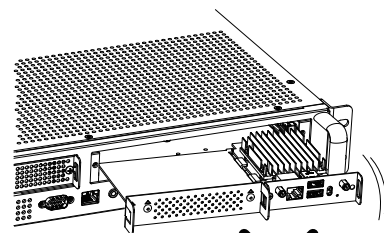
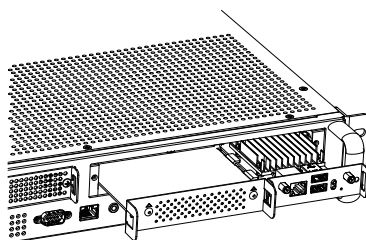
手順 4 で外したねじ (2 本) で固定してください。



- 締め付けトルクは  $0.5\text{N} \cdot \text{m}$  以下を目安として締め付けてください。

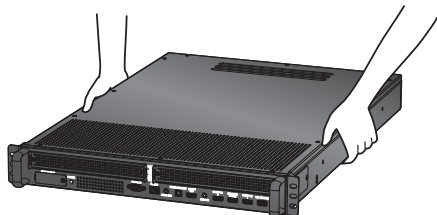
#### お願い

- ファンクションボードが機能拡張用スロットの開口部端面に接触しないように挿入してください。本機およびファンクションボードに傷がつく原因になります。



## 移動するときの注意

移動する際には両側面を持ってください。



### お願い

- 壁掛けもしくはスタンドへの取り付け／取り外しは2人以上で行ってください。
- 本機の上下左右のフレームやコーナー部をぶついたりしないください。  
故障の原因になります。

## 別売オプション

取り付けについては専門業者にご依頼ください。

### 12G-SDI 端子ボード：

- ・ TY-SB01QS

### デジタルリンク端子ボード：

- ・ TY-SB01DL

### デジタルリンクスイッチャー：

- ・ ET-YFB200

### ワイヤレスプレゼンテーションシステム SLOT オプションボード：

- ・ TY-SB01WP

### お願い

- 設置は、性能・安全確保のため、必ずお求めの販売店または専門業者に施工を依頼してください。
- ご使用を終了した製品は、工事専門業者にご依頼のうえ速やかに撤去してください。
- 別売のオプションの品番は、予告なく変更する場合があります。



# 接続

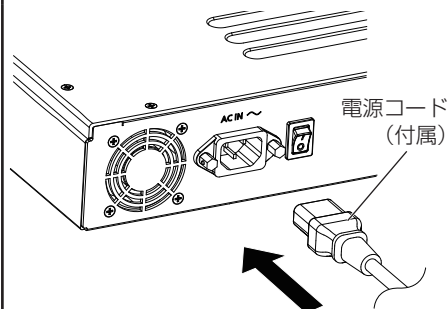
## 電源コードの接続と固定、 接続ケーブルの固定

本体後面



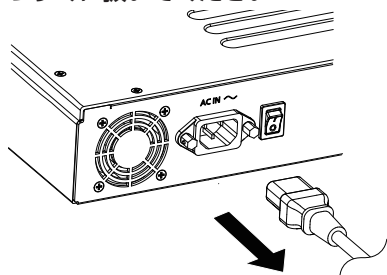
### 電源コードの固定方法

コネクタを根元まで  
まっすぐに差し込んでください



### 電源コードを外すとき

コネクタ本体を持って、  
まっすぐに抜いてください

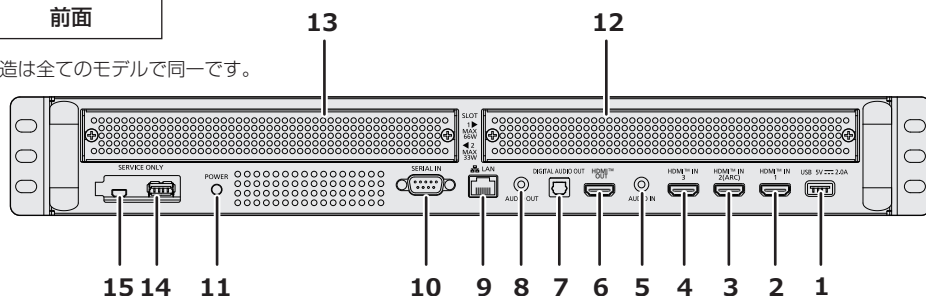


### お願い

- 破損した電源コードは使用しないでください。破損した状態で使用すると、電源コードのコネクタと〈AC IN〉端子との間で接触不良になるおそれがあります。電源コードの修理は、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 電源コードを外す場合は、必ず電源コンセント側の電源プラグを先に抜いてください。
- 付属の電源コードは、本機専用です。他の用途に使用しないでください。

## 前面

構造は全てのモデルで同一です。



- 1 USB :** **USB 端子**  
USB メモリーを接続したとき、メディアプレーヤーやメモリーブューアー機能を使用できます。  
また、受信時に 5V / 最大 2A まで外部機器に電源を供給することができます。

- 2 HDMI IN 1 :** **HDMI 入力端子 (3 系統)**  
**3 HDMI IN 2 :** HDMI 出力がある映像機器  
**4 HDMI IN 3 :** を接続します。また、HDMI IN 2 端子は、ARC 対応機器に接続して音声を出力できます。

- 5 AUDIO IN :** **アナログ音声入力端子**

- 6 HDMI OUT :** **HDMI 出力端子**  
HDMI IN 3 に入力している映像及び音声を出力します。  
HDMI 入力がある映像機器を接続します。

- 7 DIGITAL AUDIO OUT :** **デジタル音声出力端子**  
デジタル音声入力端子があるオーディオ機器を接続します。

- 8 AUDIO OUT :** **アナログ音声出力端子**  
アナログ音声入力端子があるオーディオ機器を接続します。

- 9 LAN :** **LAN 端子**  
ネットワークに接続して本機を制御します。

- 10 SERIAL IN :** **シリアル入力端子**  
パソコンに接続して本機を制御します。

- 11 POWER :** **電源ランプ**  
電源状態ランプ

- 12 SLOT 1 :** **機能拡張用スロット 1**  
最大電力 66W までの拡張ボードを使用することが可能です。

- 13 SLOT 2 :** **機能拡張用スロット 2**  
最大電力 33W までの拡張ボードを使用することが可能です。

### お知らせ

- 対応するファンクションボードについてはお買い上げの販売店にお問い合わせください。

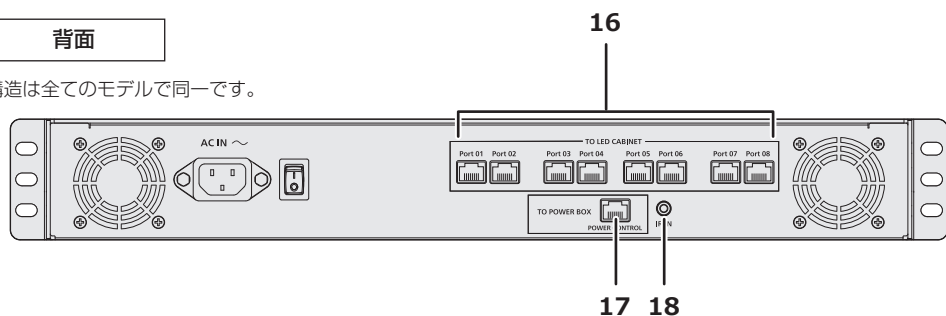
### (SERVICE ONLY)

- 14 USB :** **サービス用 USB 端子 (USB TYPE A)**

- 15 USB :** **サービス用 USB 端子 (USB mini B)**

## 背面

構造は全てのモデルで同一です。



### 16 Port01 ~ 08 : LED パネルドライブ出力端子

#### お知らせ

- TL-110AD12AJ では、Port01 ~ Port04 を使用します。
- TL-137AD15AJ では、Port01 ~ Port05 を使用します。
- TL-165AD19AJ では、Port01 ~ Port06 を使用します。

### 17 POWER 電源／センサー制御端子

**CONTROL :** 電源ボックスと接続して電源およびセンサーモジュールを制御します。

### 18 IR IN : 赤外線信号入力

リモコンで本機を操作するときに外部 IR 受信機（付属品）を接続します。

## 接続の前に

- 接続の前に、本機の詳細編の取扱説明書および、TL-110AD12AJ、TL-137AD15AJ、TL-165AD19AJの施工説明書をよくお読みください。取扱説明書と施工説明書のダウンロードについては、次の URL を参照してください。

<https://connect.panasonic.com/jp-ja/prodisplays>



- 各機器の電源を切ってからケーブルの接続をしてください。
- 下記の点に注意して、ケーブルを接続してください。行わない場合、故障の要因になります。
  - ・ ケーブルを本機、あるいは本機と接続する外部機器に接続するときは、ケーブルを持つ前に周辺の金属に触れて身体の帯電を除去した状態で作業してください。
  - ・ TY-CTRFHD1J を TY-FD12AS4 の背面に設置する場合は、本機に付属の LAN ケーブルを使用して下さい。
  - ・ 本機 (TY-CTRFHD1J) または電源ボックス (TY-PWRBX1J) を別の場所に設置する場合は、CAT5e 以上に準拠した 30 m 以内のケーブルを使用する事を推奨いたします。
  - ・ 本機 (TY-CTRFHD2J、TY-CTRFHD3J) 付属 LAN ケーブル以外の LAN ケーブルを使用する場合は、CAT5e 以上に準拠した 30 m 以内の LAN の使用を推奨いたします。
  - ・ 本機と、本機に接続する機器とを接続するケーブルは、必要以上に長くしないでください。長くするほどノイズの影響を受けやすくなります。ケーブルを巻いた状態で使用するとアンテナになりますので、さらにノイズの影響を受けやすくなります。
  - ・ ケーブル接続時は、アースが先に接続されるように、接続する機器の接続端子部にまっすぐに挿入してください。
- システム接続に必要なケーブルは、各機器の付属品、別売品がない場合は接続される外部機器に合わせて準備してください。
- プラグ外形が大きな接続ケーブルをご使用になりますと、隣接する接続ケーブルのプラグ部またはバックカバーなどに接触する場合があります。端子配列に適したプラグサイズの接続ケーブルをご使用ください。
- 爪折れ防止カバー付き LAN ケーブルを挿入した場合、カバー部がバックカバーに接触し抜けにくくなる場合がありますのでご注意ください。
- 映像出力の設定変更時など、パソコンや映像機器からの出力同期信号に乱れが発生した場合、一時的に映像に色の乱れが発生することがあります。
- パソコンのモデルによっては、本機と接続して使用できないものもあります。

- 各機器と本機を、長いケーブルを使用して接続する場合は、ケーブル補償器などを使用してください。本機が正常に映像を表示できないことがあります。
- 本機が表示できる映像信号については「プリセット信号」をご覧ください。

# 各部の基本説明

## 本機



1

### 1 電源ランプ

本機の主電源スイッチ「入」のとき

- 映像表示状態：緑色点灯
- 以下のスタンバイ状態になったとき：橙色点灯
  - ・「起動設定」メニューの「クイック起動」が「オン」でスタンバイ状態
  - ・「パワーマネージメント」機能によるスタンバイ状態
  - ・「HDMI-CEC 制御」が「有効」で「連動機能」の1つ以上が「無効」以外でスタンバイ状態
  - ・「ネットワークコントロール」が「オン」でスタンバイ状態
  - ・「SLOT1 スタンバイ」または「SLOT2 スタンバイ」機能によるスタンバイ状態
  - ・スケジュール再生モード中にスタンバイ状態
- 上記以外のスタンバイ状態：赤色点灯

本機の主電源スイッチ「切」のとき：消灯

#### お知らせ

- 本機の電源「切」で電源ランプが消灯の場合でも一部の回路は通電状態にあります。
- 電源ランプが橙色の場合は赤色の場合に比べて、スタンバイ状態の電力が一般に増加します。



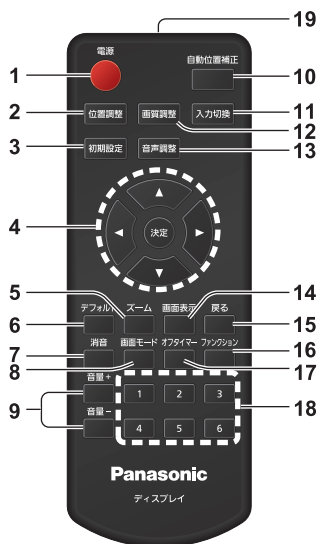
2

### 2 主電源スイッチ (O/I)

主電源を「切 (O)」 「入 (I)」します。

主電源スイッチの「切」「入」は電源プラグのコンセントからの抜き差しと同様です。主電源を「入 (I)」にしてから、リモコンで電源を「切」「入」してください。

## リモコン



### 1 電源ボタン

- 本機の主電源スイッチが「入」状態で電源を切/入します。

### 2 位置調整ボタン

### 3 初期設定ボタン

### 4 決定ボタン / カーソルボタン (▼▲◀▶)

- メニュー画面の操作に使用します。

### 5 ズームボタン

- デジタルズームモードにします。

### 6 デフォルトボタン

- 映像や音声などの調整状態を標準値に戻します。

### 7 消音ボタン

- 音声を一時的に消します。

### 8 画面モードボタン

- 画面モード (アスペクト) を選択します。

### 9 音量 - ボタン / 音量 + ボタン

- 音量を調節します。

### 10 自動位置補正ボタン

- 本機の基本的な操作では使用しません。

## 11 入力切替ボタン

- ディスプレイに表示する入力を切り換えます。

## 12 画質調整ボタン

## 13 音声調整ボタン

## 14 画面表示ボタン

- 入力モード・画面モードなどの各種設定状態を確認します。

## 15 戻るボタン

- 1 つ前のメニュー画面に戻します。

## 16 ファンクションボタン

- ファンクションガイドを表示します。

## 17 オフタイマーボタン

- 自動的に電源を切ります。

## 18 数字 (1 ~ 6) ボタン

- よく使う操作をボタンに割り当て、ショートカットボタンとして使用します。

## 19 リモコン発信部

### お知らせ

- 本書では < 入力切替 > のようにリモコンのボタンを < > で表しています。  
また、主にリモコンのボタンで操作説明をしています。

# 基本の操作



電源ランプ



外部 IR 受信機

リモコンは、  
外部 IR 受信機の受信部へ向けて  
操作してください



### お願い

- 外部 IR 受信機の受信部とリモコン間に障害物を置かないでください。
- リモコンを直接外部 IR 受信機の受信部に向けて操作する場合は、リモコン受信正面より約 7m 以内で操作してください。角度によっては操作可能な距離が短くなる場合があります。
- 外部 IR 受信機の受信部に直射日光や蛍光灯の強い光を当てないでください。

## 1 電源コードをコントロールボックスに接続する

## 2 電源プラグをコンセントへ接続する (AC 100 V 50 Hz/60 Hz)

### お願い

- 電源コードを外す場合は、必ずコンセント側の電源プラグを先に抜いてください。
- オンスクリーンメニューで設定を変更した直後に電源プラグを抜くまたは本体の主電源スイッチを「切」にすると、設定内容が保存されない場合があります。十分に時間を置いていただくか、リモコンや RS-232C 制御または LAN 制御で電源「切」を実行後に電源プラグを抜くか、または本機の主電源スイッチを「切」にしてください。

## 3 本機背面の主電源スイッチ (O/I) を「入 (I)」にする

## 4 リモコンで「切」「入」する

### 電源を入れる

- ・ 本機の主電源スイッチ「入 (I)」(電源ランプ --- 赤色または橙色) でリモコンの電源ボタンを押すと受像します。

電源ランプ：緑色点灯 (受像状態)

### 電源を切る

- ・ 本機の主電源スイッチ「入 (I)」(電源ランプ --- 緑色) でリモコンの電源ボタンを押すと電源「切」になります。

電源ランプ：赤色または橙色点灯 (スタンバイ)

### お知らせ

- 電源プラグを抜いた後も、電源ランプがしばらく点灯し続けることがあります。故障ではありません。
- 本機の電源が「入」(受像状態) または「切」(スタンバイ状態) のときに本機の主電源スイッチを「切 (O)」にすると、本機とキャビネットモジュールの電源が切れます。
- 本機とキャビネットモジュールの電源が「入」(受像状態) のときに、本機と電源ボックスを接続する RJ-45 コードが抜けた場合にはキャビネットモジュールの電源が切れ、本機の電源ランプが点滅します。
- 本機と電源ボックスを接続する RJ-45 コードが抜けた状態では、本機の主電源スイッチを「入 (I)」にしたときに、本機の電源ランプが点滅します。

■ 初めて電源を「入」にしたとき  
次の画面が表示されます。

## 1 ▲▼ でご利用の言語を選択し、 < 決定 > を押す

バージョン 2.0000 未満 (多言語対応前)



バージョン 2.0000 以降 (多言語対応後)



## 2 日付と時刻の設定を行う

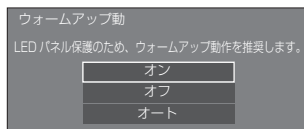


年 / 月 / 日 / 時 / 分

日付と時刻の各項目は、▲▼ で移動し、◀▶ で値を選択する

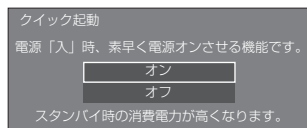
## 3 ウォームアップ動作の設定を行う

「ウォームアップ動作」を設定する場合は▲▼で「オン」または「オート」を選択し、< 決定 > を押す





## 4 「クイック起動」を設定する場合は ▲▼ で「オン」を選択し、< 決定 > を押す



### お知らせ

- 「クイック起動」の設定画面で「オン」にカーソルを合わせると、以下のメッセージが表示されます。「スタンバイ時の消費電力が高くなります。」  
なお、この時のディスプレイの電力は、最大消費電力の3分の1程度となります。
- これらの画面は一度設定すると、次回電源を「入」にしたとき表示されません。再設定が必要な場合は、次のメニューで設定してください。

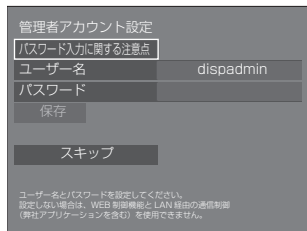
表示言語切換

日付と時刻設定

ウォームアップ動作設定

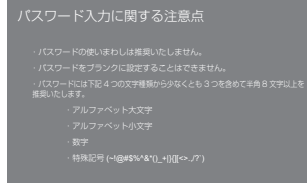
クイック起動

## 5 必要に応じてネットワークアカウントの設定を行う。



### パスワード入力に関する注意点

本項目のパスワード設定に関する注意点が別ウィンドウで表示されます。



### ユーザー名

ユーザー名設定のキーボードが表示されます。ユーザー名を入力してください。

### パスワード

パスワード設定のキーボードが表示されます。パスワードを入力後に「確定」を選ぶと確認画面が表示されます。再度パスワードを入力して「確定」を選ぶとパスワードが決定されます。

### 保存

上記で設定したユーザー名およびパスワードをコントロールボックス本体に保存します。

### スキップ

本設定を行わずにこの画面を終了します。

### お知らせ

- この画面は一度設定またはスキップすると、次回電源を「入」にしたとき表示されません。再設定が必要な場合は、ネットワーク設定メニューで設定してください。

## ■ 電源「入」時のメッセージ

本機の電源を「入」にしたとき、次のメッセージが表示される場合があります。

### 無操作自動オフ警告メッセージ

無操作自動オフ機能が有効です。

「初期設定」メニューの「無操作自動オフ」を「有効」に設定した場合、電源を入れたときに警告メッセージが表示されます。

### パワーマネジメントお知らせメッセージ

パワーマネジメントが働きました。

「パワーマネジメント」が働いた場合、電源を入れたときにお知らせメッセージが表示されます。

これらのメッセージは、次のメニューで設定できます。

- ・ 「起動設定」メニュー  
お知らせ (無操作自動オフ)  
お知らせ (パワーマネジメント)

# 仕様

## 本体

品番	TY-CTRFHD1J
種類	コントロールボックス
使用電源	AC 100 V ± 10 % 50 / 60 Hz
	2.2 A
消費電力	54 W <sup>*1</sup>
	リモコンで電源「切」時 0.5 W
動作使用条件	温度：0℃～40℃ 湿度：10%～80%（結露のないこと） <sup>*2</sup>
稼働時間	24 時間 / 日
SLOT1 用 供給電力	3.3 V / 最大 1.1 A、12 V / 最大 5.5 A
SLOT2 用 供給電力	3.3 V / 最大 1.1 A、12 V / 最大 2.75 A
HDMI 入力端子 HDMI IN 1 HDMI IN 2 HDMI IN 3	TYPE A コネクター <sup>*3</sup> × 3 (4K 対応) HDCP2.2 対応 音声信号 リニア PCM (サンプリング周波数：48 kHz/44.1 kHz/32 kHz)
HDMI 出力端子 HDMI OUT	TYPE A コネクター × 1 (4K 対応) HDCP2.2 対応 音声信号 リニア PCM (サンプリング周波数：48 kHz/44.1 kHz/32 kHz)
音声入力端子 AUDIO IN	ステレオミニジャック (M3) (φ 3.5 mm) × 1 0.5 V [rms]
音声出力端子 AUDIO OUT	ステレオミニジャック (M3) (φ 3.5 mm) × 1 0.5 V [rms]
デジタル音声出力端子 DIGITAL AUDIO OUT	SPDIF
シリアル入力端子 SERIAL IN	外部制御端子 D-sub 9 ピン × 1 RS-232C 準拠
LAN 端子 LAN	RJ45 × 1 ネットワーク接続用、PjLink 対応 通信方式：RJ45 10BASE-T/100BASE-TX
リモコン入力端子 IR IN	ステレオミニジャック (M3) (φ 3.5 mm) × 1
USB 端子 USB	USB コネクター × 1、TYPE A DC 5 V / 最大 2 A USB 3.0 対応
LED ドライブ出力端子 LED DRIVE OUT	RJ45 × 8 LED 映像信号出力用
パワーボックス制御端子 CONTROL for PB	RJ45 × 1 パワーボックス制御用
USB 端子 (サービス用) (SERVICE ONLY)	USB コネクター × 1、TYPE A USB コネクター × 1、TYPE miniB
外形寸法	幅 441 mm 高さ 62 mm 奥行 696 mm
質量	約 6.7 kg

## リモコン

使用電源	DC 3 V (単 4 形マンガンまたはアルカリ乾電池 2 個)
操作距離	約 7 m 以内 (リモコン受信部正面)
質量	約 63 g (乾電池含む)
外形寸法	幅：48 mm 高さ：134 mm 奥行：20 mm

※ 1 工場出荷設定時

※ 2 高地 (海拔 1 400 m 以上 2 800 m 未満) で使用する場合の使用環境温度は 0℃～35℃になります。

※ 3 VIERA LINK 非対応

本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧が異なりますので使用できません。

(This set is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.)

## 本体

品番	TY-CTRFHD2J
種類	コントロールボックス
使用電源	AC 100 V - 50 / 60 Hz 2.2 A
	AC 200 V - 50 / 60 Hz 1.05 A
消費電力	57 W <sup>*1</sup>
	リモコンで電源「切」時 0.7 W
動作使用条件	温度：0℃～40℃ 湿度：10%～80%（結露のないこと） <sup>*2</sup>
稼働時間	24時間/日
SLOT1 用 供給電力	3.3 V / 最大 1.1 A、12 V / 最大 5.5 A
SLOT2 用 供給電力	3.3 V / 最大 1.1 A、12 V / 最大 2.75 A
HDMI 入力端子	
HDMI IN 1	TYPE A コネクタ <sup>*3</sup> × 3 (4K 対応) HDCP2.2 対応
HDMI IN 2	音声信号 リニア PCM (サンプリング周波数：48 kHz/44.1 kHz/32 kHz)
HDMI IN 3	
HDMI 出力端子	TYPE A コネクタ × 1 (4K 対応) HDCP2.2 対応
HDMI OUT	音声信号 リニア PCM (サンプリング周波数：48 kHz/44.1 kHz/32 kHz)
音声入力端子	ステレオミニジャック (M3) (φ 3.5 mm) × 1 0.5 V [rms]
AUDIO IN	
音声出力端子	ステレオミニジャック (M3) (φ 3.5 mm) × 1 0.5 V [rms]
AUDIO OUT	
デジタル音声出力端子	SPDIF
DIGITAL AUDIO OUT	
シリアル入力端子	外部制御端子
SERIAL IN	D-sub 9 ピン × 1 RS-232C 準拠
LAN 端子	RJ45 × 1 ネットワーク接続用、PJLink 対応
LAN	通信方式：RJ45 10BASE-T/100BASE-TX
リモコン入力端子	ステレオミニジャック (M3) (φ 3.5 mm) × 1
IR IN	
USB 端子	USB コネクタ × 1、TYPE A DC 5 V / 最大 2 A USB 3.0 対応
USB	
LED ドライブ出力端子	RJ45 × 8 LED 映像信号出力用
LED DRIVE OUT	
パワーボックス制御端子	RJ45 × 1 パワーボックス制御用
CONTROL for PB	
USB 端子 (サービス用)	USB コネクタ × 1、TYPE A
(SERVICE ONLY)	USB コネクタ × 1、TYPE miniB
外形寸法	幅 441 mm
	高さ 62 mm
	奥行 696 mm
質量	約 6.7 kg

## リモコン

使用電源	DC 3 V (単 4 形マンガンまたはアルカリ乾電池 2 個)
操作距離	約 7 m 以内 (リモコン受信部正面)
質量	約 63 g (乾電池含む)
外形寸法	幅：48 mm 高さ：134 mm 奥行：20 mm

※ 1 工場出荷設定時

※ 2 高地 (海拔 1 400 m 以上 2 800 m 未満) で使用する場合は使用環境温度は 0℃～35℃になります。

※ 3 VIERA LINK 非対応

本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧が異なりますので使用できません。

(This set is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.)

## 本体

品番	TY-CTRFHD3J
種類	コントロールボックス
使用電源	AC 100 V - 50 / 60 Hz 2.2 A
	AC 200 V - 50 / 60 Hz 1.05 A
消費電力	57 W <sup>*1</sup>
	リモコンで電源「切」時 0.7 W
動作使用条件	温度：0℃～40℃ 湿度：10%～80%（結露のないこと） <sup>*2</sup>
稼働時間	24時間/日
SLOT1 用 供給電力	3.3 V / 最大 1.1 A、12 V / 最大 5.5 A
SLOT2 用 供給電力	3.3 V / 最大 1.1 A、12 V / 最大 2.75 A
HDMI 入力端子	
HDMI IN 1	TYPE A コネクタ <sup>*3</sup> × 3 (4K 対応) HDCP2.2 対応
HDMI IN 2	音声信号 リニア PCM (サンプリング周波数：48 kHz/44.1 kHz/32 kHz)
HDMI IN 3	
HDMI 出力端子	TYPE A コネクタ × 1 (4K 対応) HDCP2.2 対応
HDMI OUT	音声信号 リニア PCM (サンプリング周波数：48 kHz/44.1 kHz/32 kHz)
音声入力端子	ステレオミニジャック (M3) (φ 3.5 mm) × 1 0.5 V [rms]
AUDIO IN	
音声出力端子	ステレオミニジャック (M3) (φ 3.5 mm) × 1 0.5 V [rms]
AUDIO OUT	
デジタル音声出力端子	SPDIF
DIGITAL AUDIO OUT	
シリアル入力端子	外部制御端子
SERIAL IN	D-sub 9 ピン × 1 RS-232C 準拠
LAN 端子	RJ45 × 1 ネットワーク接続用、PjLink 対応
LAN	通信方式：RJ45 10BASE-T/100BASE-TX
リモコン入力端子	ステレオミニジャック (M3) (φ 3.5 mm) × 1
IR IN	
USB 端子	USB コネクタ × 1、TYPE A DC 5 V / 最大 2 A USB 3.0 対応
USB	
LED ドライブ出力端子	RJ45 × 8 LED 映像信号出力用
LED DRIVE OUT	
パワーボックス制御端子	RJ45 × 1 パワーボックス制御用
CONTROL for PB	
USB 端子 (サービス用)	USB コネクタ × 1、TYPE A
(SERVICE ONLY)	USB コネクタ × 1、TYPE miniB
外形寸法	幅 441 mm
	高さ 62 mm
	奥行 696 mm
	質量 約 6.7 kg

## リモコン

使用電源	DC 3 V (単 4 形マンガンまたはアルカリ乾電池 2 個)
操作距離	約 7 m 以内 (リモコン受信部正面)
質量	約 63 g (乾電池含む)
外形寸法	幅：48 mm 高さ：134 mm 奥行：20 mm

※ 1 工場出荷設定時

※ 2 高地 (海拔 1 400 m 以上 2 800 m 未満) で使用する場合は使用環境温度は 0℃～35℃になります。

※ 3 VIERA LINK 非対応

本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧が異なりますので使用できません。

(This set is designed for use in Japan only and can not be used in any other country.)

# ソフトウェアライセンス

本製品は、以下の種類のソフトウェアから構成されています。

- (1) パナソニック プロジェクター&ディスプレイ株式会社が独自に開発したソフトウェア
- (2) 第三者が保有しており、パナソニック プロジェクター&ディスプレイ株式会社にライセンスされたソフトウェア
- (3) GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version2.0 (GPL V2.0) に基づきライセンスされたソフトウェア
- (4) GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version2.0 (LGPL V2.0) に基づきライセンスされたソフトウェア
- (5) GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version2.1 (LGPLV2.1) に基づきライセンスされたソフトウェア
- (6) GPL V2.0、LGPL V2.0、LGPL V2.1 以外の条件に基づきライセンスされたオープンソースソフトウェア

上記 (3) ~ (6) に分類されるソフトウェアは、これら単体で有用であることを期待して頒布されますが、「商品性」または「特定の目的についての適合性」についての黙示の保証をしないことを含め、一切の保証はなされません。詳細は、本製品の初期設定メニューからの所定の操作によって [ソフトウェアライセンス] の選択により表示されるライセンス条件をご参照ください。

パナソニック プロジェクター&ディスプレイ株式会社は、本製品の発売から少なくとも3年間、以下の問い合わせ窓口にご連絡いただいた方に対し、実費にて、GPL V2.0、LGPL V2.0、LGPL V2.1、またはソースコードの開示義務を課すその他の条件に基づきライセンスされたソフトウェアに対応する完全かつ機械読取り可能なソースコードを、それぞれの著作権者の情報と併せて提供します。

問い合わせ窓口： [oss-cd-request@gg.jp.panasonic.com](mailto:oss-cd-request@gg.jp.panasonic.com)

本製品は、AVC Patent Portfolio License、VC-1 Patent Portfolio License 及び MPEG-4 Visual Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、以下に記載する行為に係るお客様の個人的または非営利目的の使用を除いてはライセンスされておりません。

- (i) 画像情報を AVC 規格、VC-1 規格及び MPEG-4 Visual 規格に準拠して（以下、AVC/VC-1/MPEG-4 ビデオ）記録すること。
- (ii) 個人的活動に従事する消費者によって記録された AVC/VC-1/MPEG-4 ビデオ、または、ライセンスを受けた提供者から入手した AVC/VC-1/MPEG-4 ビデオを再生すること。

詳細については MPEG LA, LLC ホームページ (<http://www.mpegla.com>) をご参照ください。

## 商標について

- Microsoft、Windows、Microsoft Edge は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Mac、macOS、Safari は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- PjLink 商標は、日本、米国その他の国や地域における登録又は出願商標です。
- HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interface、HDMI のトレードドレスおよび HDMI のロゴは、HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または登録商標です。
- JavaScript は、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標または商標です。
- Crestron Connected、Crestron Connected ロゴ、Crestron Fusion、XiO Cloud は、Crestron Electronics, Inc. の、米国および / または各国での商標または登録商標です。

なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

#### ■ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報



このシンボルマークは、ヨーロッパ連合（EU）をはじめとするリサイクルシステムを備えた国にのみ有効です。

製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

#### 警告

この装置は、クラス A 機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

JIS C 61000-3-2 適合品

本装置は、高周波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しています。

便利メモ おぼえのため記入 されると便利です。	お買い上げ日	年    月    日	品 番	
	販 売 店 名	☎ (       )    -	お客様ご相談窓口	
		☎ (       )    -		